

県民のつらつ

目で見る県勢



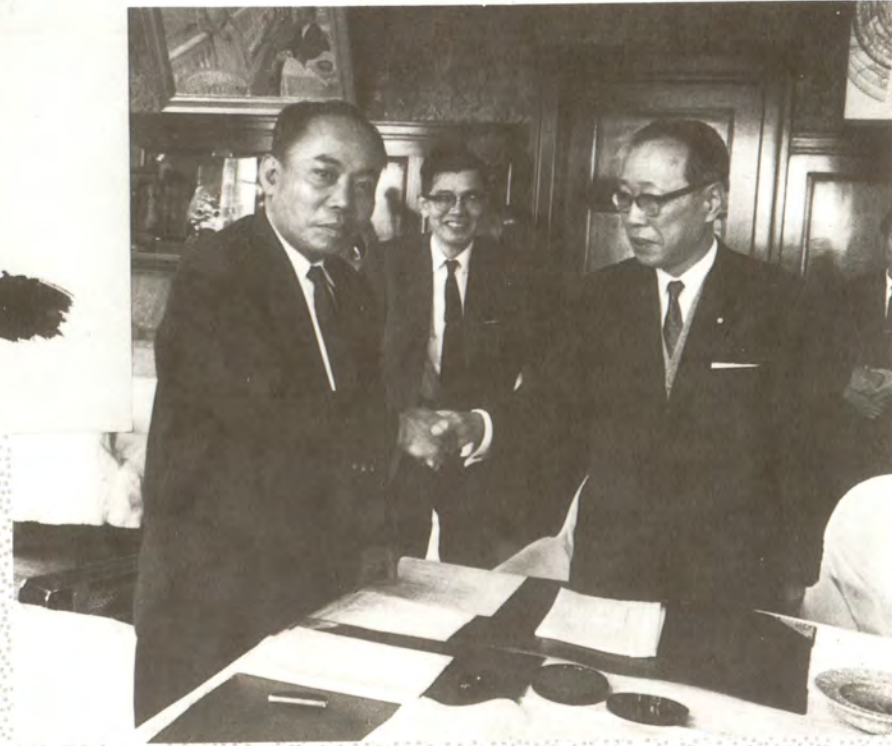
昭和44年

富山新港
の
星



勅題「星」は宇宙時代への飛躍

富山新港臨海工業地帯へ進出する会社と調印を終える吉田富山県知事



日本海の夜明けを告げる「富山新港」の開港。そして新港臨海工業地帯へ〈住友化学〉・〈中越パルプ〉・〈北陸電力〉の進出がきまり、一方産業発展の基幹ルート「北陸自動車道」の起工をみるなど、昨年富山県は、産業立地にも経済的にも飛躍的な発展をみせました。

来年は、いよいよ日本海側と太平洋側とを結ぶ、一大観光ルート〈立山トンネル〉を中心にした「立山ルート」が完成する予定であります。

今年は、この三大事業竣工の間にあって、ますます豊かで平和な、明るい富山県となるよう、市町村団体をはじめ、各種団体も各家庭も、そして県民ひとりひとりが助けあい、協力しあって、めざましい発展に対処していかなければなりません。

富山県はいま、第4次県勢総合計画の策定を準備しています。持てる水資源をフルに利用するための〈河を横に結ぶ〉構想もまた、その一つであります。

こうして美しい郷土、住みよい郷土を築きあげることによって、そこにはたのもし、郷土愛に満ち満ちた人間が形成されるのです。

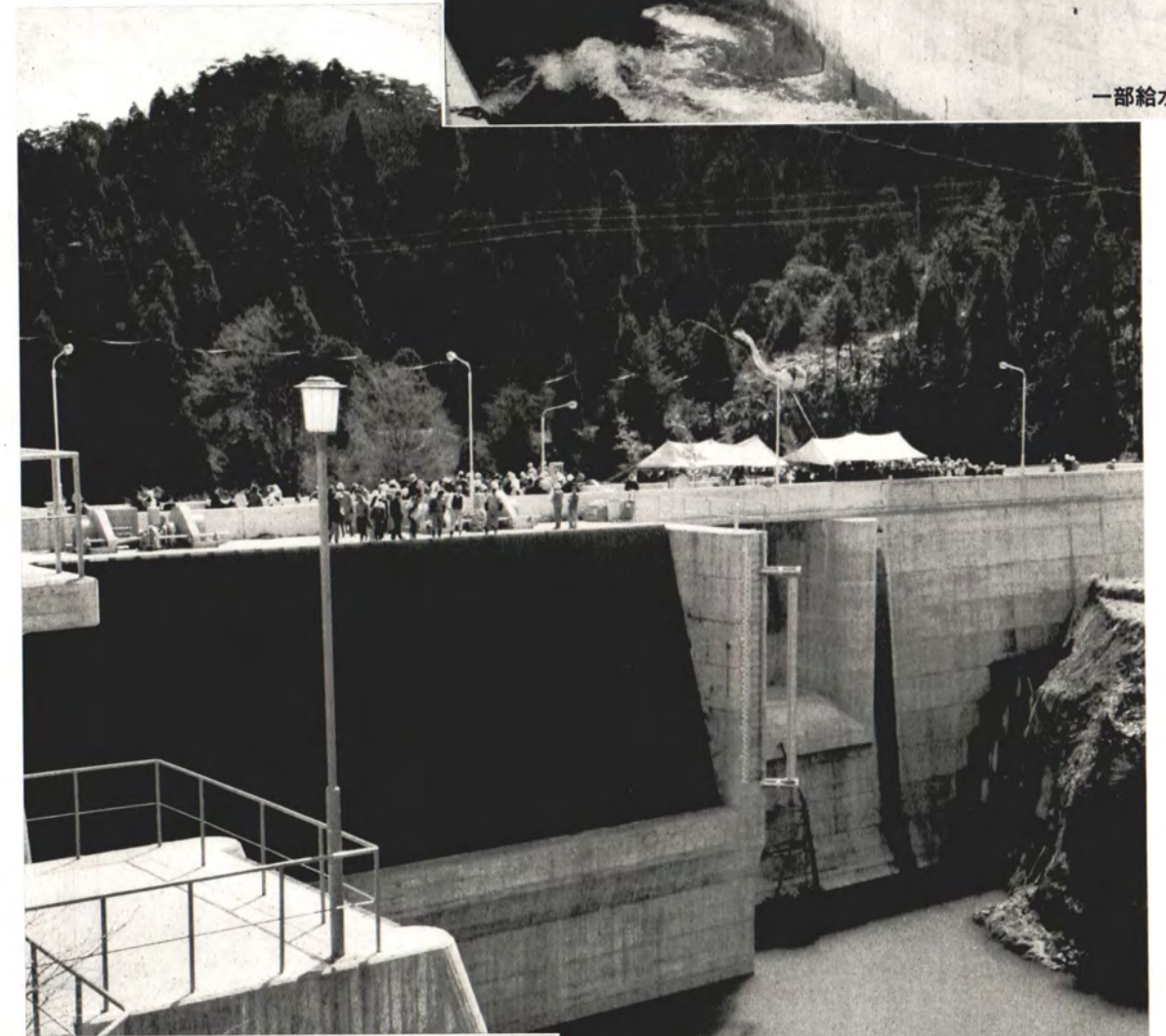
給水・発電を始めた —和田川総合開発事業—

日本海時代の幕明けの役をつとめた富山新港とその周辺に、工業用水と飲料水を供給しようと、和田川総合開発は一部給水が始まり、発電も開始した。

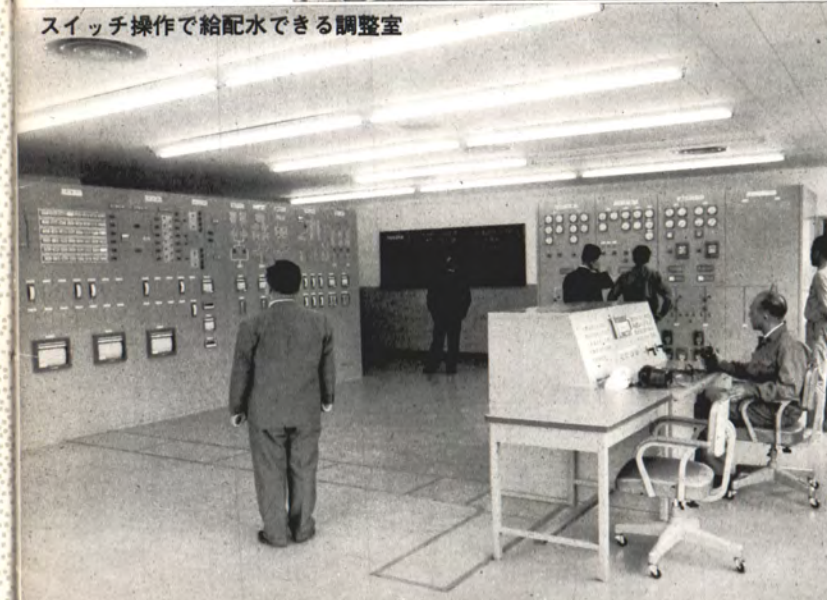
川をおさめ、利用し、野を豊かにする河川総合開発計画は、こうして一つ一つ着実に実現していく。



一部給水始まる



スイッチ操作で給配水できる調整室



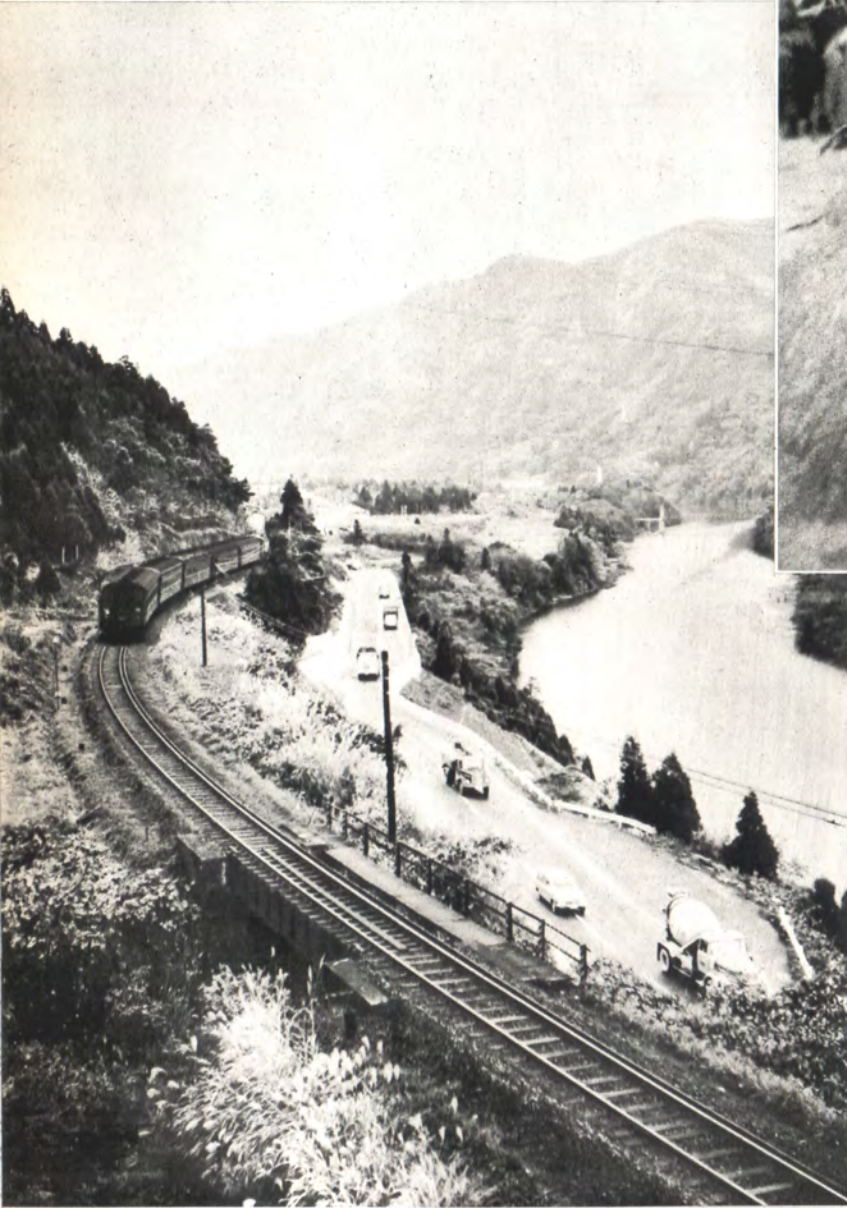
和田川総合開発事業のシンボル「和田川ダム」の偉容

急がれる
国道 県道 市町村道の整備



北陸自動車道起工式でくわ入れの儀を行なう保利前建設大臣

中部を結ぶ国道41号線



県道富山砺波線



中部圏の確立は交通網から

中部圏の開発、それは現在の日本において最も大切な事業であり、国際的にも深い関心をもって注目されています。

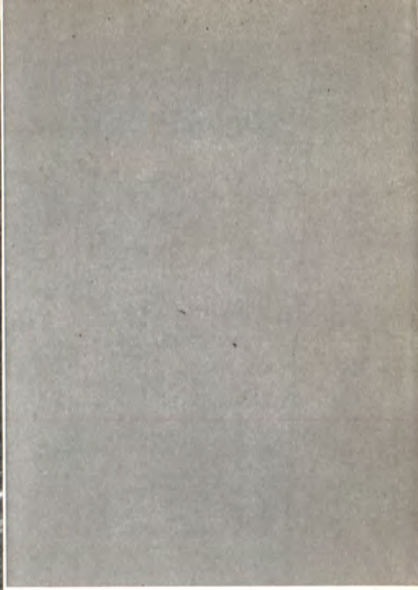
「中部は一つ」の合い言葉は、北陸自動車道の着工をはじめ、高山線の強化、国道41号線の整備、北回り新幹線の構想等々、まず道路網、鉄道網の実現から進められています。

特急「ひだ号」は 富山から名古屋へ
約4時間でひた走る





田の節水、秋落ち防止、冷水温障害をなくする「流水客土」は豊かな実りの足がかり

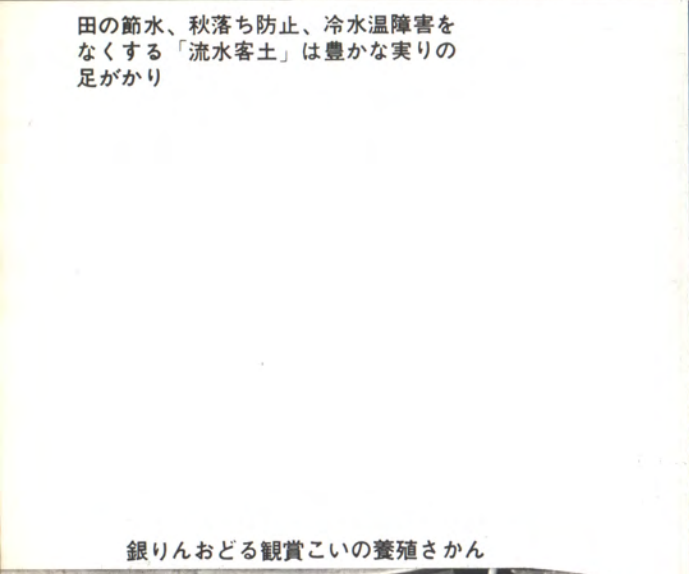


ブリ漁で賑わう魚市場の盛況



豊作の決め手となる農薬散布

越冬野菜などの野菜団地ふえる



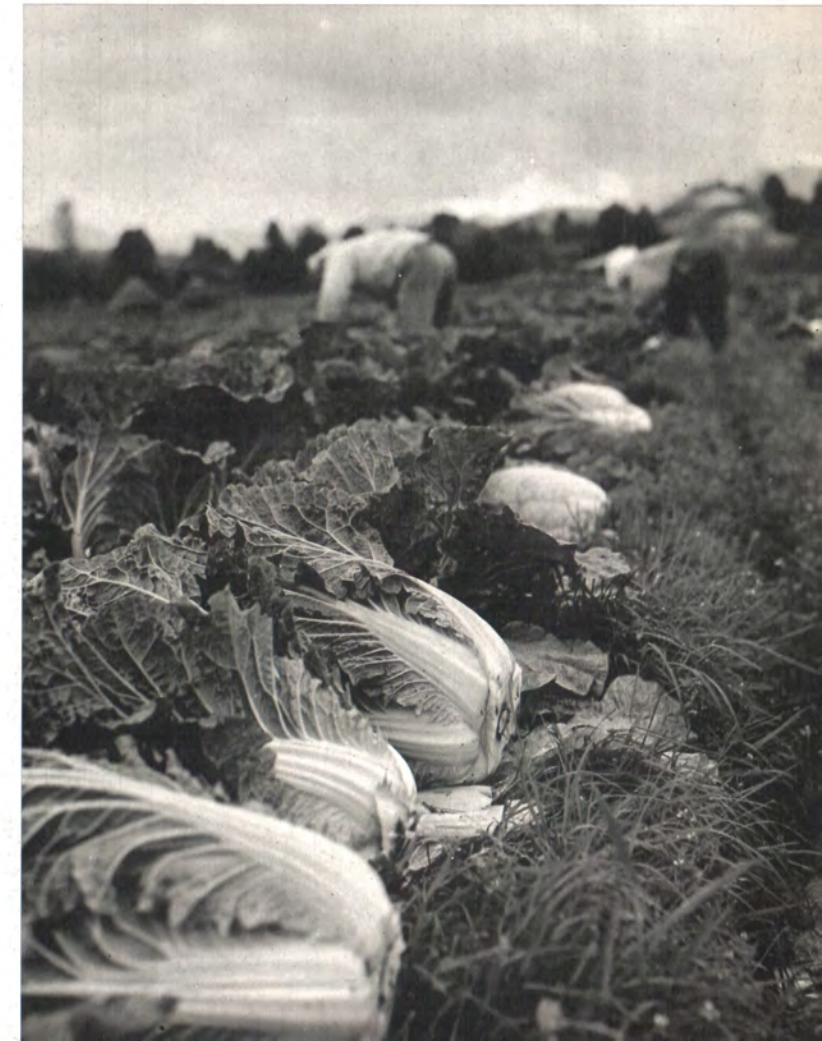
銀りんおどる観賞こいの養殖さかん



少ない労力で 大きな収穫を

農業・水産業経営の近代化は、農・漁家のたゆまない努力により、どんどん進められている。

品質の良い、かつ収量の多い米を、新鮮な魚や野菜・果物を、そして畜産、養蚕、養鯉など、富山県の農業・水産業の振興に示す努力は、「あすの農村」をにう経営者の養成意欲とともにすばらしいものがある。



県民の期待を一身に

—富山新港 活動を始める—

富山新港はいま、その背後地「臨海工業地帯」に、アルミ、木材、火力発電など、大きな企業の進出を見る運びとなり、大型船が自由に接岸できるように、しゅんせつやふ頭工事、臨港道路建設が急ピッチで進められている。「日本海時代」を開く拠点であり、中部圏の発展のカギを握る「富山新港」がフルに活動を始める日は近い。

港の造成に背後地の整備に ピッチをあげる富山新港周辺



住友化学工業K.Kの名古屋製造所



中越パルプ工業K.Kの能町工場

進出決まった大手三社



北陸電力K.Kの火力発電所



開港宣言



第一船を迎えて

色あざやかに一せい放水



船長さん ありがとうございます

喜びにわくパレード



除幕される記念の塔

富山新港開港式

昭和43年 4月21日

「日本海時代開拓への拠点とする、大いなる願いをこめ、百万富山県民を代表して、ここに富山新港の開港を宣言いたします。」と力強い吉田知事の声は、奈呉の浦を越え海外に響く。

愛の手を



精薄者コロニー「セーナー苑」

充実する社会福祉

百万県民がひとり残らず健康で明るい、豊かな生活ができたなら……こんな願いはかなえられないものだろうか。現実では、不幸な星の下に生れ、あるいは淋しい生活を送る人がたくさんおいでになる。県では、施設をつくり、保護に、看護に、そして援護にと、暖かい社会福祉の手をさしのべるよう努めている。

元気いっぱい体操をする流杉老人ホームのみなさん



一日も早く社会復帰をと

青少年の健全な育成

能力の開発と
人間形成の場を

最近の青少年には、自由が多過ぎるという説もあるがその説自体には問題があるとしても、すくすくと青少年が育ってくれることを願わない者はいないだろう。

明日の日本の政治、経済、文化をになう青少年に、能力の開発を基調とした<人間形成の場>を与え、暖かい社会環境をつくることは、大人の責務であり、社会の急務である。

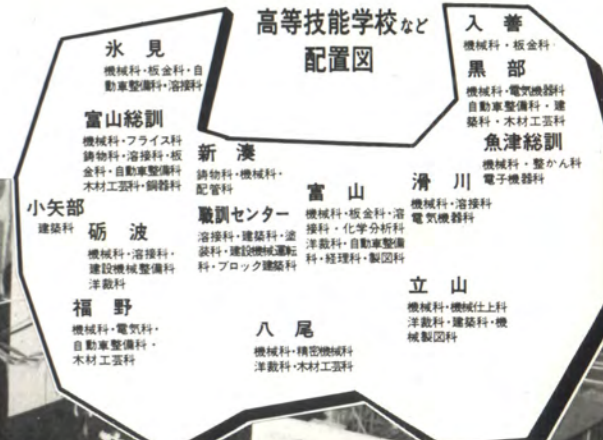


二上青少年の家は 万葉のふるさと二上山麓に10月31日完工する

若い技能者の育成 それはこれからの産業のにない手である(展示即売会場)



高等技能学校など配置図



来レ若人
高度+技能
富山県立
立山高等技能学校

福野
高等技能学校
機械科
電気科
木工工芸科
自動車整備科

日本一長く美しい称名滝



世紀の山岳観光事業 立山ルート of 全容

昭和45年に完成

万国博に歩調を合わせて、昭和45年をめざして完成を急ぐ「立山ルート」は、ことし、地下ケーブルの運転開始にまでこぎつけた。

日本の屋根立山連峰を、自動車やケーブル、ロープウェイで探勝できるこのルートは、東京-富山-大阪・名古屋を結ぶ一大観光ルートである。

富山県が、世界に誇るこの全望を、限られた頁で組むのはとても無理だが、すばらしい景観が眼前に浮かんでいただければ幸いである。

立山ルートの拠点「室堂平」室堂と二の沢間は立山トンネルで結ばれる



二の沢 新丸山間。日本一長いロープウェイの走る地点



富山県の朝は ここから始まる

高山植物の咲き競う弥陀ヶ原高原



浄土山から見た後立山と雲海 遠く富士山を望む



登山客や観光客でにぎわう美女平

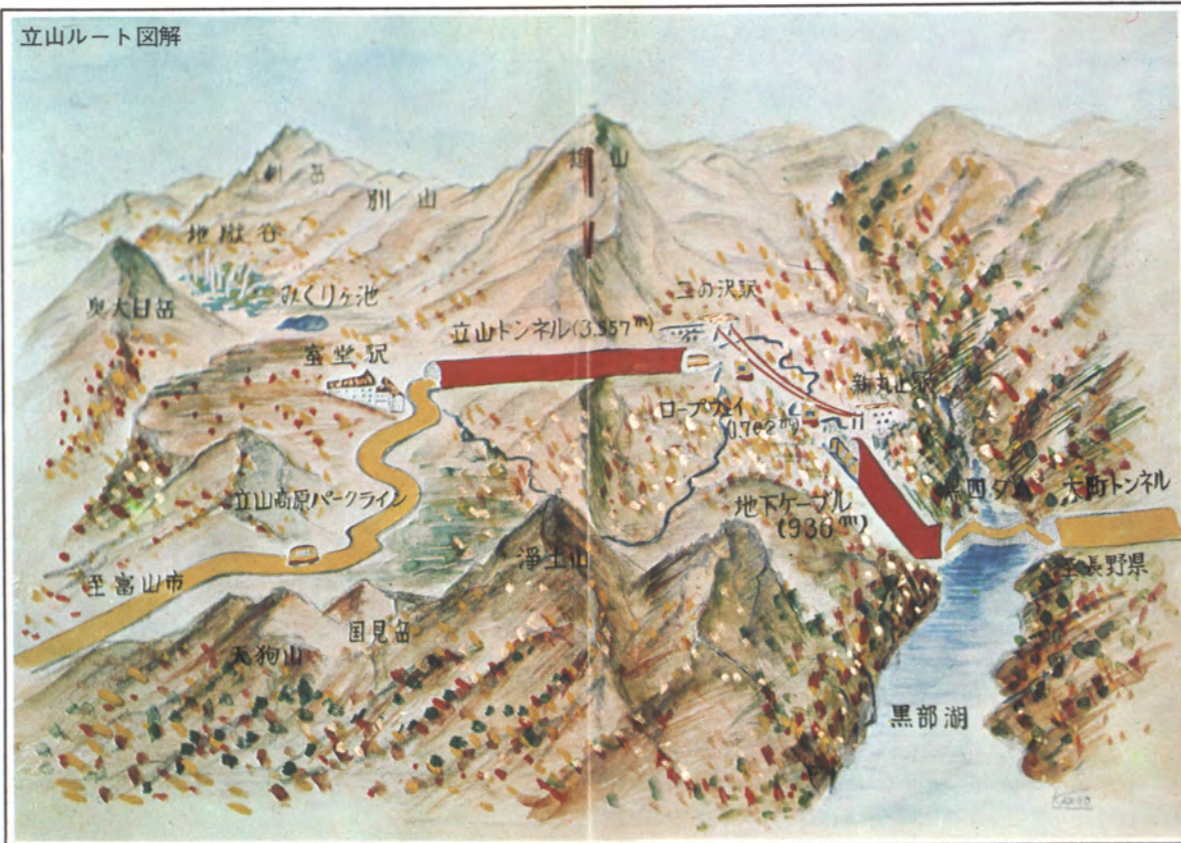
二の沢駅完成図



新丸山駅完成図 新丸山-黒四ダム間は地下ケーブルで走る



富山-桂台-美女平へ、そして室堂へ 車に乗ったまま行ける道路の建設現場



立山ルート図解



咲きほこる高山植物

世紀の工事 黒四ダムは、このルートの実現を可能にした



もうゴメンだ 交通戦争



県下には多くの横断歩道橋が設置されました 歩行者のためのこの橋をどんどん利用しましょう

取締りは常に行なわれているのだが



この子らを見習って下さい



遂に、史上最高を示した昨年の交通事故の死傷者数（別表）。宜戦布告のないこの交通戦争、防ぐことは、無くすることはできないものか。

必ず無くすることはできる

それは、運転者も歩行者も、指導者も住民も、県民総ぐるみでこの犠牲にならないよう、交通ルールを守り、万全の注意をすること。

たったそれだけでできるのだ。

運転者は

飲酒運転を

無免許運転を

スピード違反を

やめよう



このたくさんの車 すでに大都会並みなのです

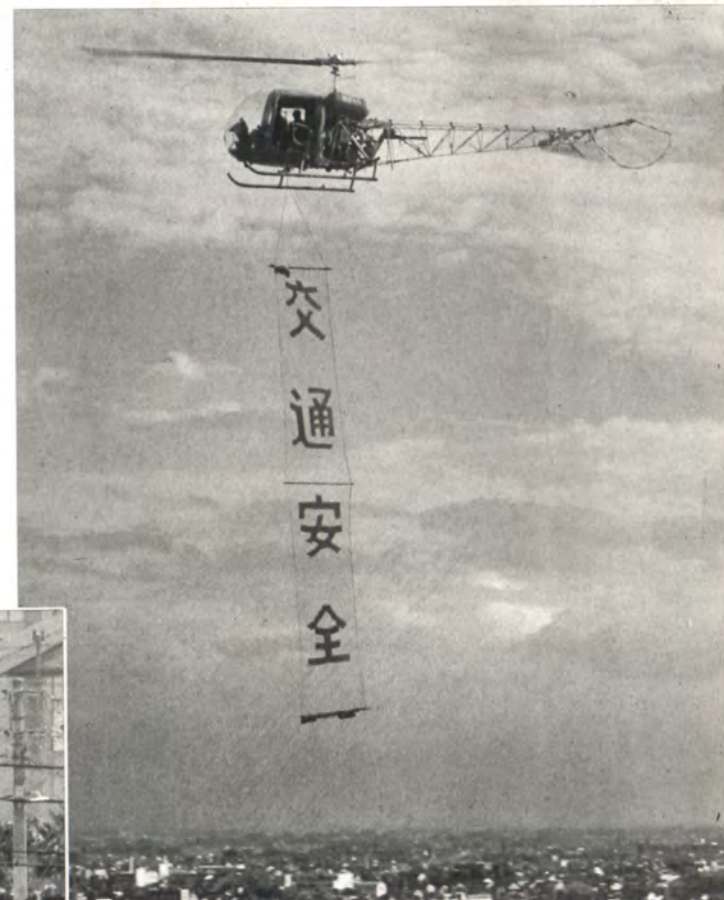
歩行者は

右側通行を

信号の確認を

道路へ飛び出さないことを

守ろう



「県民総ぐるみで交通事故を防ぎましょう」と

昭和43年交通事故

	死亡	負傷	計
全国	14,254	812,936	827,190
富山県	149	7,394	7,543

家族全部で交通ルールの勉強も



一度だけ、一杯だけが 事故のもと 事故を呼ぶ 酒は飲むまい 飲ますまい これぐらい 一杯ぐらいが 事故のもと 運転に 酒はわが身の 赤信号 事故を呼ぶ

これぐらい 飲んだゆだんが 事故のもと 一杯の 酒が凶器に する車 ハンドルを 飲めばもたない 僕のパパ 事故を呼ぶ

ふるさとは ここに生きる

祖先が残してくれた遺産、そのうちのいくつかは絶え、消えていった。しかしそれはそれなりに、時代的な理由があったものと思われる。

現在に生きる私たちは、この遺産を、あるものは守り、あるものは利用、開発して、汚すことなく子孫に引継ぐ責任がある。

美しい郷土には、美しい情緒と人間愛が生れる。



元祿の頃から伝えられる越中民謡おわら



平家の落ち人が
つれづれに踊った
という麦屋節

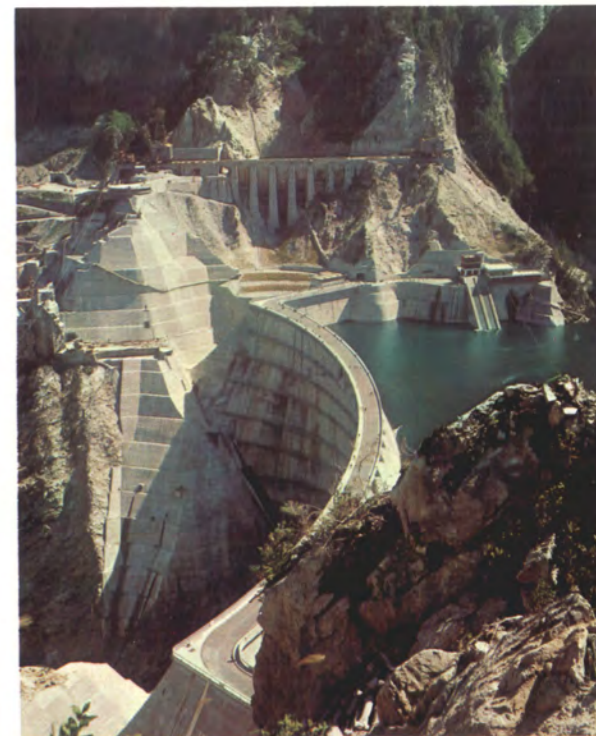
太陽と緑の中のニュータウン 太閤山団地



うっそうたる立山杉の原始林がつづく
(千寿ヶ原上空から美女平 雄山間をみる)



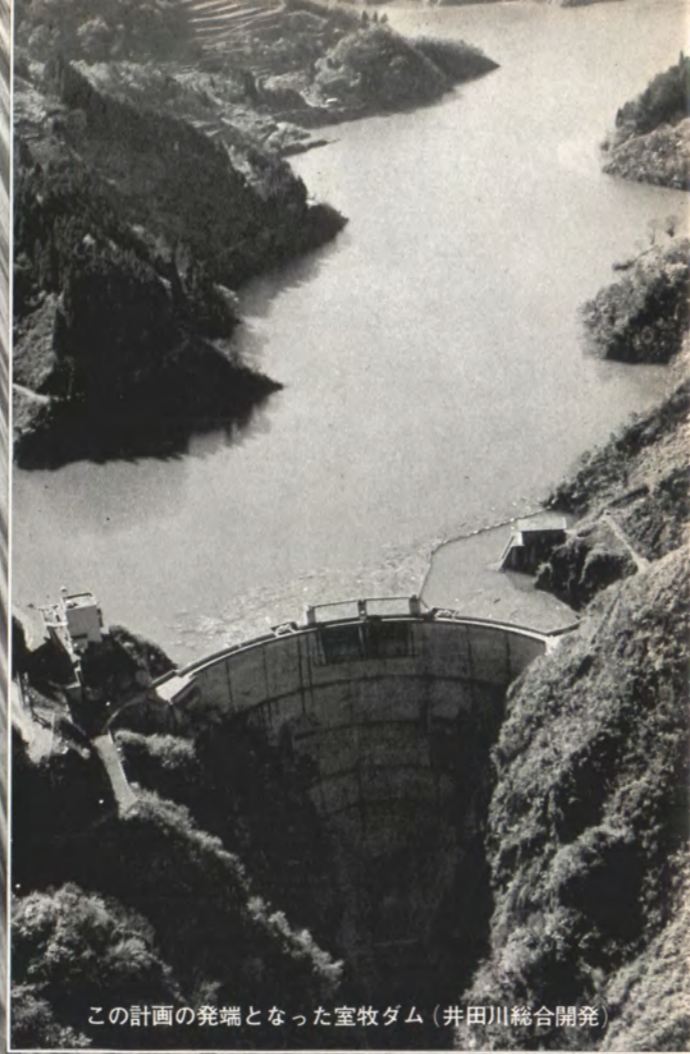
すばらしい黒部峡谷の景観



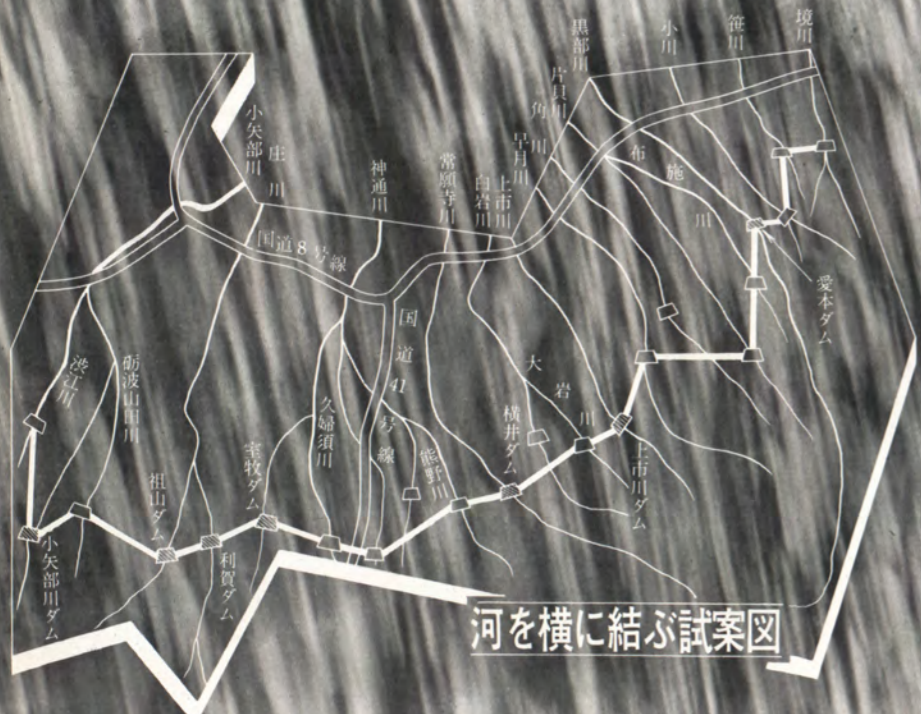
この黒四ダムが 東京 大阪を結ぶかけ橋と
なる日は近い

具体化される『夢』 河を横に結ぶ

多くの河川と豊富な水を利用して『河を横に結ぶ』という、富山県ならではの夢のような大構想は、いよいよその計画が具体化される。県下22河川の既設ダム7つと、新設ダム15をパイプで結ぶと、ちょうど県の東西にわたって大きい水の動脈が横たわる格好となる。農業・工業・生活の各用水の飛躍的な増大と、一部の水不足や、洪水の解消ともなるこの大構想は、日本では初めての試みであり注目されている。



この計画の発端となった室牧ダム（井田川総合開発）



公害なくして健康な生活を



道ゆく人に無言で訴える痛々しい「イ病患者写真展」

煤じん測定器



産業公害、人工公害など健康な生活をおびやかす、数々の公害が問題になっている。

富山県に発生した〈イタイイタイ病〉も公害病ではないかと法廷に持ち込まれた。

県では、この公害問題を重大視して、各種の検査や測定をし、また、公害防止条例をつくり、公害のおこらないよう未然に関係方面へ注意を喚起するなどの対策をたて、公害のない住みよい街づくりに努力している。

各種の煤煙測定器材を積み込んで走る測定車



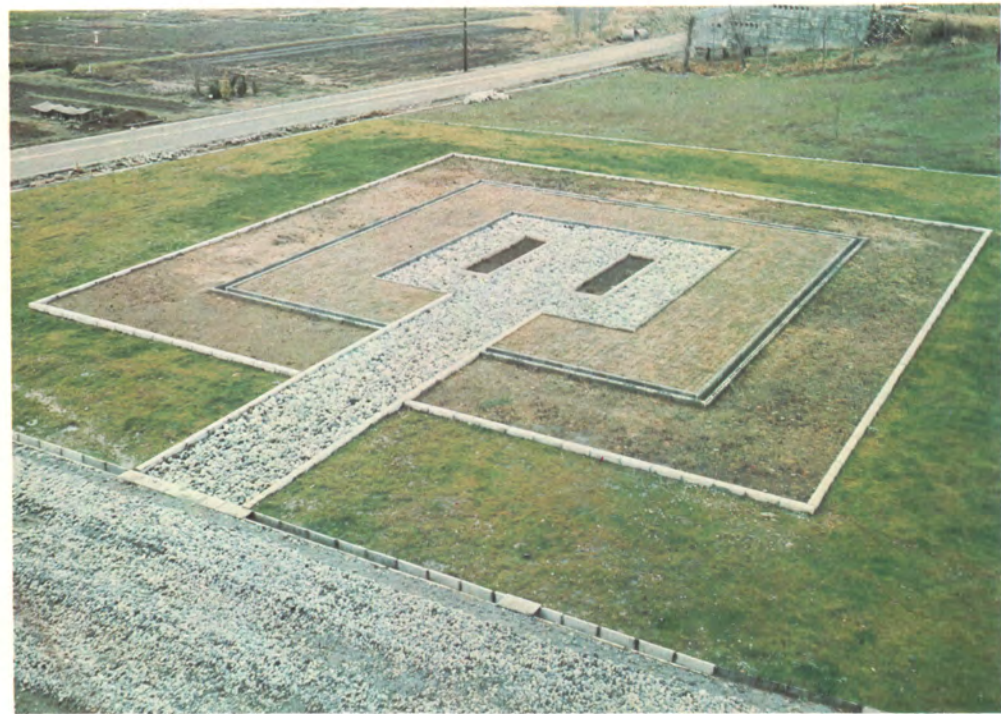


全く整備された頼成山大会場

第20回植樹祭は富山県で

今年、5月下旬、砺波市頼成山で開催される「第20回植樹祭」は、天皇、皇后両陛下をお迎えして、盛大に行なわれる運びになった。

県土を美しく、災害を防ぎ、県勢の繁栄をもたらすこの植樹祭を、「みんなで植える百万本」を合い言葉として準備に大わらわ。



お手まき場は立山町吉峰に整備された



富山県を代表する木「タテヤマスギ」

「青少年の山」での植林奉仕



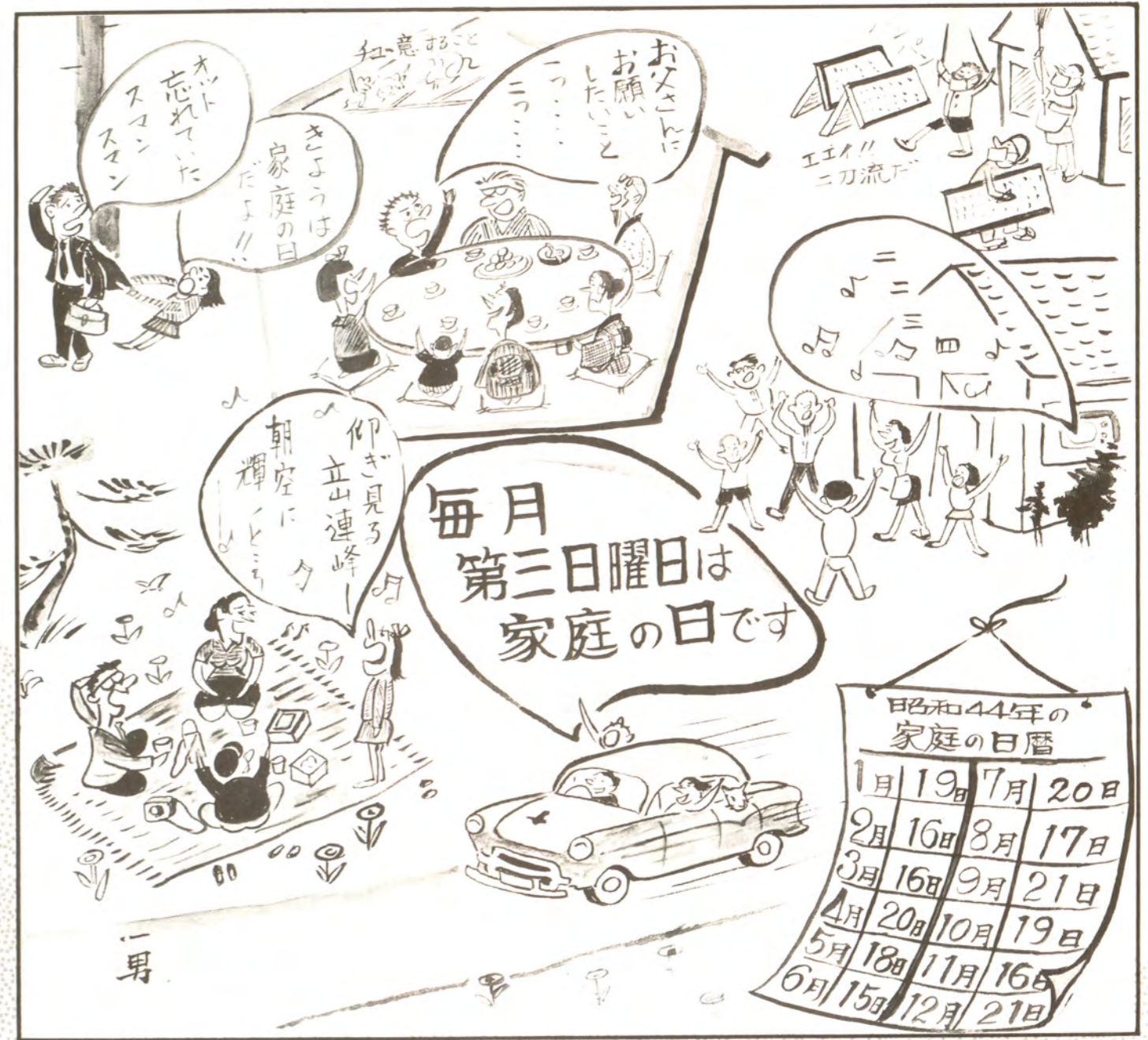
鳥取県植樹祭でお手植になる天皇陛下



献血は他人のためにするのでなく、自分が、あるいは家族が、もし不幸にして輸血が必要になったときのためにするものだと考えて、献血運動に協力しよう。

献血とは是非御協力下さい

愛の献血車



われら県民自己形成の願い

望まじき富山県民像

5つの願い

1. わが富山県民は
郷土の良い伝統を尊び
自らの長短を反省し
風土と人情を美しくする。
これがわれらの願いである。

2. わが富山県民は
広い世界的見識
深い道徳的人間愛
清い宗教的情操を育てよう
努力する。
これがわれらの願いである。

3. わが富山県民は
骨身惜しまぬ勤労の喜びと
強い責任感を持ち
健康で職業を守り産業を進める。
これがわれらの願いである。

4. わが富山県民は
義務教育をおもたせ
知性と徳性を啓発し
人格の自己形成につとめる。
これがわれらの願いである。

5. わが富山県民は
礼節と真摯ある言動で
家庭や社会の
明朗な人間関係を整える。
これがわれらの願いである。



表紙説明



昭和41年10月1日富山県の木として指定された「タテヤマスギ」。
厳しい風雪に耐えぬいてきたこの「タテヤマスギ」は、あたかも富山県民性である「根性」と「辛抱強さ」を象徴している。
今年富山県で全国植樹祭が挙行される。そして天皇、皇后両陛下のお手植えをはじめ、多くの方々の手で植えられる木も、その多くはこの「タテヤマスギ」である。
ここにかかげた「タテヤマスギ」はその原生地である立山山ろくの美女平から約500m上ったところにある。後方に見える山は躰崎山である。



富 山 県

県 民 グ ラ フ

昭和44年1月1日発行

編集人 富 山 県 総 務 課
発行人
印刷 中越印刷製紙株式会社

